

アジア21世紀奨学財団

2009年度（平成21年度）

事業計画書

2009年4月1日

アジア21世紀奨学財団

2009年度(平成21年度)は、公益法人制度改革による新法人への移行を控えた年となります。

こうした状況を勘案し、2009年度の奨学金支給事業及び国際交流事業は2008年度と同様の事業規模を前提として実施してまいります。

こうした内外の環境変化を踏まえて、本年度は下記のとおりの方針の財団運営及び事業実施に努力を傾注してまいります。

◆ 主な事業:

① ニッポンレンタカー地球環境奨学金及び研究助成金事業

採用予定人数 5名 (アジア留学生を過半数とする)

② 国際交流事業

これまでのアジア21OB・OGのネットワーク強化を第一義とし、新法人への移行後の事業展開の基礎づくりとする。

◆ その他:

2009年度中に新法人に移行すべく、事務局の勢力を傾注する。

2009年度（平成21年度）事業計画

（2009年4月1日から2010年3月31日）

I. 奨学金支給事業

1. ニッポンレンタカー地球環境奨学金

「ニッポンレンタカー地球環境奨学金」は、今日地球社会が抱える最大の課題のひとつである地球環境問題の解決を目指して研究するアジア各国からの研究者（大学院博士課程生）に奨学支援を行い、地球環境問題の克服と地球社会の持続的発展に寄与することを目的とする。

奨学生数 : 5名程度

奨学金額 : 月額10万円

- 応募資格 :
- (1) 首都圏各大学大学院の博士課程後期に在籍するアジア各国・地域からの私費留学生及び日本人学生
 - (2) 地球環境問題を研究課題とする者
〔研究領域〕
 - ①「環境科学・技術」領域：環境科学を中心とする工学、農学・自然科学分野
 - ②「公共政策・制度論」領域：国際関係学、法学、政治学、公共政策を中心とする社会科学分野
 - ③「経済・経営」領域：経済学、財政学、経営学を中心とする社会科学分野
 - ④「自動車技術・交通政策」領域：自動車環境改善技術、環境改善を目的とした交通政策分野
 - (3) 研究、留学等の目的が明確で、研究成果の社会還元が期待できる者
 - (4) 将来にわたって地球環境問題の克服に関する研究に携わる意欲と「志」を有する者
 - (5) アジアにおける地球環境問題研究者のネットワーク構築に意欲を持つ者

募集期間 : 2008年4月1日から5月9日

募集方式 : 大学経由による自由応募方式
(募集実務は日本国際教育支援協会に委託する)

選考方法 : 研究計画、研究実績、テーマ論文の審査及び面接審査
(面接審査はグループ面接方式にて行う)

選考委員 : 1. 松橋隆治 東京大学大学院新領域創成学研究科教授
2. 吉高神明 福島大学経済学部教授
3. 堂脇清志 東京理科大学経営工学部講師
4. 亀山康子 国立環境研究所主任研究員
5. 佐藤裕二 ニッポンレンタカーサービス(株)取締役

2. 研究補助金

「地球環境奨学金」受給者に対して、海外での学会等への参加費の補助として年額200,000円を上限とする補助金を支給する。

II. 国際交流事業

1. 例会

アジア21世紀奨学財団OB・OG、奨学生、地球環境問題研究者、関係者の交流及びグループ研究活動を促進することを目的とする交流会を年間3回程度開催する。

2. メーリングリストを活用した地球環境問題関連の情報交換ネットワークの構築